

岡山市可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業

特定事業の効果及び効率性の評価の効果

令和4年3月

岡山市

岡山市は、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）に準じて、岡山市可燃ごみ広域処理施設整理・運営事業（以下「本件事業」という。）を実施する民間事業者を選定したので、同法第11条の規定に準じて特定事業の効果及び効率性の評価の結果を次の通り公表する。

令和4年3月1日

岡山市長 大森 雅夫

1 事業概要

(1) 事業名称

岡山市可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業

(2) 対象となる公共施設等の種類

廃棄物処理施設

(3) 公共施設等の管理者等の名称

岡山市長 大森 雅夫

(4) 事業方式

本件事業は、DBO (Design (設計) - Build (建設) - Operate (維持管理・運営)) 方式により実施する。

落札者の構成企業を選定事業者(以下「事業者」という。)として、岡山市(以下「市」という。)の所有となる岡山市可燃ごみ広域処理施設(以下「本件施設」という。)の設計、建設及び運営・維持管理に係る業務を一括して行うものとする。

(5) 事業期間

事業期間は、次のとおり予定する。

ア 特定事業契約の締結：令和4年3月

イ 設計・建設期間：令和4年4月1日から令和9年3月31日(5年間)

ウ 運営期間：令和9年4月1日から令和29年3月31日(20年間)

(6) 事業範囲

選定事業者が行う業務の範囲は次のとおりとする。

ア 本件施設の設計・建設業務

設計施工事業者は、市と締結する建設工事請負契約に基づき、本件施設の設計施工業務を行う。建設業務については、既存の岡南環境センターの解体撤去工事、建築物及び建築設備工事、プラント工事(機械設備工事、電気・計装設備工事、配管工事)、外構工事、その他関連工事及び関連業務等を行う。

イ 本件施設の運営・維持管理業務

運営管理事業者は、運営業務委託契約に基づき、処理対象物の計量、受け入れ、料金徴収を行い、要求水準を満足する適正な処理を行う。なお、主な運営業務は、運転業務、維持管理業務(本件施設の点検整備・補修・機器更新を含む。)、資源化業務、清掃業務、保安業務、環境管理業務等とする。

ウ 焼却灰運搬及び飛灰運搬業務

焼却灰運搬及び飛灰運搬企業は、それぞれ焼却灰運搬業務及び飛灰運搬業務委託契約に基づき、本件施設から発生する焼却灰及び飛灰を事業者が選定した焼却灰資源化又は飛灰資源化施設へ運搬する。

エ 焼却灰資源化及び飛灰資源化業務

焼却灰資源化及び飛灰資源化企業は、それぞれ焼却灰資源化業務及び飛灰資源化業務委託契約に基づき、本件施設から発生する焼却灰及び飛灰を資源化処理する。

(7) 計画施設の概要

ア 計画地の概要

所在地	岡山市南区豊成一丁目4番1号ほか	
敷地面積	約 14,400m ²	
都市計画事項	区域区分	市街化区域
	用途地域	準工業地域（敷地北東部の一部）、 第1種住居地域（その他部分）
	防火地域	指定なし
	高度地区・高度利用地区	指定なし
	建ぺい率	60%以下
	容積率	200%以下
	高さ制限	建築基準法による
	日影規制	建築基準法による

イ 計画施設の概要

処理方式	全連続燃焼式ストーカ焼却炉（蒸気タービン発電機付き）
施設規模及び炉数	200t/日（100t/24h×2炉）
処理対象物	可燃ごみ、可燃性粗大ごみ、し渣、可燃性残渣、災害廃棄物

2 特定事業の効果及び効率性の評価の結果

(1) 市の財政負担の削減

ア 市が直接事業を実施する場合の市の財政負担額（現在価値換算金額）については、令和3年3月25日に公表した特定事業の選定と同等とする。

イ 特定事業として実施する場合の市の財政負担額（現在価値換算金額）については、事業者の提案に基づき、市が事業者に支払う本件事業に係る設計・建設業務、運営・維持管理業務、焼却灰運搬及び飛灰運搬業務・焼却灰資源化及び飛灰資源化業務に係る対価から、市税収入を控除し、特定事業の実施に伴う直接的な経費を加え、さらに本件事業に係る市の財政収支を考慮して算出する。

ウ 上記で算出した、市が直接事業を実施する場合の市の財政負担額（現在価値換算金額）と、特定事業として実施する場合の市の財政負担額（現在価値換算金額）を比較する。

表 市の財政負担の削減

①市が直接事業を実施する場合の市の財政負担額 （現在価値換算金額）	24,598,277千円
②特定事業として実施する場合の市の財政負担額 （現在価値換算金額）	22,019,253千円
③市の財政支出の削減効果（＝①－②）	2,579,023千円 10.48（％）

(2) 特定事業として実施することの定性的評価

事業者の提案において本件事業の背景や特徴を十分に理解した上で、自らが有するノウハウと創意工夫を盛り込み、岡山市が要求する機能・性能等を上回る技術提案を行っており、市の示した要求水準を上回る施設整備と運営サービスの提供が期待できる。